新政府慶祝大會の賑ひ[#京] - #紫東

は四十年の苦力と四ケ月の日子を一更に多數段配する意識を有し既に一

はれる支刑側ではからる封鎖線を 歌して十七日達に完成されたと

によれば様子江九江附近の封鎖板【上海十八日四盟】支那側の競麦

に十八日漢口において全國抗日總 | 南支八省に大規模に新兵事集を行

はしめ廣西省一省だけでも三十五

谷を地直すべく國民政府監督の下

|南京路路後継組銀代する抗日版||上の命令を強することになった。||南京路路後継組銀代である||地方揚子红||帯には駆闘に観地を「あらゆる重良を辿してふるものれば何民政府に抗日分子の竹相||を地に分骨を破ける後兆半上程施|| 領釈が完成してみる局域。てみる||地方揚子红||帯には駆闘に観地を「あらゆる重良を辿してふるもの

上の命令を強することになった。 この新組職第一段の命令としては

その所在地も時介石の居所その時々の根底に難じ秒軸性をもち作職根據地が大本管所在地たるの觀を呈してゐる

南京船落以來戦時における軍事・政治、経済の最高統領機構としての機能を提失して東京る軍事機器と化しつつ

那人一千五百名は十六日英國汽船 。松泉島から太古に野澄、太古保

が避した旨競表した、更に日本が避した旨競表した、更に日本でもらじて日本地の包に納を

王空よりる、珠に政界は日本がその議節の一

本政府が果して如何なを同答を行 を通徳したがロンドン政界では日

「太清十七日阿盟」出場から平和 京地地方を貼つてやつて来た支

支那人多數 京津を慕ふ

既都、靈南省昆明、貴州省實陽等があげられてゐるが、古來天喰をもつて知られる重慶の背後地成都說がして第二次遷都を行ふべく眞劍に考慮中なりと傳へられる、その第一候領地としては諸種の事情よりして密義いてわか年の趣味に何く正にこの新歌教が辨した場合。漢口は當然危險に 曝されその餘 波は重慶にも及ぶのでこれが『時國』南京落英を練出して日文の韓尚は華上第三資際に進文新華の第二級は連議網出により半月形を描いて杭州に至えた蘇、安寧、浙江三君にある「日間図」南京落英を練出して日文の韓尚は華上第三資際に進文新華の第二級は連議網出により半月形を描いて杭州に至えた蘇、安寧、浙江三君にある「日間図」南京落英を練出して日文の韓尚は華上第三資際に進立を新華の第二級に連議

に奥地成都へ逃げるか

敵、第二次遷都を眞劍に考慮

全國抗日總同盟を結成

落い悉く安那軍並に暴民に浪撃 れた現実が輝く祭光を浴びる日の門をくせる日血と実にする 南京入城式

『境の遊戲』が晴れやかた膜利

展式は配換せよ十二月十七日午デを加へる息地の蘇首都南京人

日聴軍は上派上陸軍を右に抗

と時間じろして無難に皆に合川 本の感覚」に難いてゆる これ 晴れの各部様長の話はこの『日

入城式だ、かくて熊州南司合官

御実委・強夷たる上沿方面軍最 一海の精鋭は押江門より入域、関宮殿下が終措験を進めるせ給よ 支那方面機械司令是管をはじめ

兵、一方『日本時』の背空には

倉房選邦・『天島陛下京成』の た、次いで午選二時四十五分国 発売「毎半眼学へら大を移つ 無菌が東班の天地を置かして午

12-3-B

北支戰線 英河水町一番水

Cotto III

恐怖中のわが軍は十五日午後二

ンーダモ 記 目たし輯編にみ好人代近

| 前九時三十五分臨時間蔣二先たち| 分首相を訪問して張睒を遂げた 首相官既に入り近衛首相と奇見 答へた、またルーズヴェルトナ

回答に不満の場合は

「東京地話」教室説相に十八日午

首、藏、法相要談

强硬に出る

【ロンドンナ七日同盟】イギリス | 表徴として現實に如何なる行動に | ギリス政府としては相當強硬態能 砲艦事件と倫敦政界の觀測

に聞いて貫ひたい

ハル長官と懇談

は反對

藥庭家之界世

リス | は北海及び地中海に現在艦隊主力 相も十七日の新聞紙上にイギリス 者から新な重要報告に接したので 件について双方の情報を持ち近り のアジア艦隊司令長官ヤーネル提一方流軍作職部長リー提督は上派 との育見後新聞記者戲に對して今一ヴェルト大統領は十七日新聞記者に懇談したが、同大能はハル長管「ワラットライオ日同盟」パーコ って來たわけではない』と語った と質問が出たに對してはどうするか に関しラトロー議員の提出せる数

との定例会見において極東の情報

英、取止めに決す

この良質が この賣行き

◆市來乙遂氏(貴族院議員)十七

七日入城。朝鮮ホテル水揚之助氏(清水組副計長) 重治陸軍少將 十七日入城 耐中央軍の劉策 【APの報道】

四十分遊離現場に急行し來ったア

軍に南京府衛後も飽くまで長柳紙。取殺用來る赵大なもので、これが「サンドリ氏(イタリー新聞記者)「単に答(ニューヨーク十七日同盟)支那「た、この別行塔に軍用御買五十後」件の御総者イタリー人サンドロ・「ロイテ・

|女房は十七日女部新聞の釈迦とし||平七地下ると演じてある||十一名は痕骸||は十七日子版四時||松を歌館してあるがAL連伊上版||駅側のため着添した軍隊は八英五||他三名の遺跡、食塚着十五名(内|

[上海十七日同題]パネー陳撰沈本 メリカ回職オアフ魏で上海に野岩 パ號に性否上海着

する総置はなるに京経株北京――【北京十八日同盟】北京を中心と

教者にイーデン外相を助問到議を

直通列車を運行

香菜を行ってゐたがいよく、來る。 イーデン外相の認識に登したと見「別類如方面では北京、石家荘開の「發展狀況につき最近の情報を提供

の一般旅客取扱いを開始すること

南昌市民避難

温利車が運轉されるとになった。

外相訪問 日同盟 軽英文 〇巻に指子江を題就し早くも安塵郭泰 英 【ロンドン十六】イテル頭口間帯によるにEオオモ

イテル漢口短報によれば日本軍監 【ロンドン十七日阿盟】十七日日

大使即恣談は十六日イギリス外「伽婆を攻撃したといはれる、更に

一十日から更に石家莊―― 順徳間 | られる

貯窯同盟結成さる

「東京立村間」回山道書の提出した強力國民黨樹立論の影響は根熱社大黨内にも著しい反響を與へ能內から即時解点の整「東京立村間」回山道書の提出した強力國民黨樹立論の形態は大濱内にも著しい反響を與へ () の財政の対象を対すると、既に地方組織とも連絡すると共に満洲北支方面に皇事歴間に出向いてゐる同解意の要求幹事の下に再出發表として正理を心とするものであり、同同盟の首組の「高級行業員直用未承見にする」はでいる限の単に立義的維例の数を設せている。 () のか同意に既に第七十一段でにおいて人民職執的基を要数、図案が有力に接頭、遂に「社大黨解棄期成同盟」の結成を見るに至つた、即も同意に既に第七十一段でにおいて人民職執政策を要数、図案が有力に接頭、遂に「社大黨解棄期成同盟」の結成を見るに至つた、即も同意に既に第七十一段でにおいて人民職執政策を要数、図案に表すると共に関すると共に関すると共に関すると共に関すると共に関すると共に関すると共に関すると共に関すると共に関すると共に関すると対し、関係の影響は根熱社大黨内にも著しい反響を與へ能内から即時解意の軽減を対象として、

體制完成と共に 域の

中の資軍、資船中の投票を除立

、日全帯郭内の總選級投票数計を 丁十七日左の如く放終結果を競 **製成投票・八九、八四四、一部邦ソウエート代議員候舶** - 東(全芸摂取の九八・〇六)

け自分だけは逃げ廻つて命を完

異的廉價版配出版界の

○高級オフセット印の高級オフセット印

【モスコー十七日同盟】最高ソ

うせもうちよつとのところだ で、無理を押すのは表へものじ

その引つからりを取除かない

线五十二

る一連巻へて見るんですな

水だ何度かに引つかゝりが残つ

永年様か合つてゐる問題だが 军力國家管理案実如许出现

増して・ 御愛用家を 次から次へ

行きます

対任挟抄のため十八日本駐来助「袈裟三郎氏(指非郵乗開投)

生産収決定打合せのため十個協元氏(本府米戦課長)

天地支黄

御愛用家が

確信があり その品質に 造つたものは 眞心こめて 誠に感謝です

十二百午後二時八分龍

成績を發表

【北京十八日河盟】中華民國臨時一日本並にその成立に多大の野窟を一掌する行政府は新農閣に度すべく 根本基調を東亚一寄せたドイツ、イタリー南國政府一潜々準備中であるが大独の左の如 の機械完成を持ち第三国による正 の間に比較的早く外交関係の進展 が可能であり或は近世帯來新政権 日、獨、伊は近く實現せん 対日間保 新政府成立と同時に課政委員長審領和氏の英語 く新政府と列國との外交關係は進

構成立に収益を表して家た南州関「見られる、新政府の外交革命を管」によっても新政府が日本との眞

式承認が實現するのではないかと

而して未承認が加内と云へども一面をとることを組得してゐる。

である。獨伊開州は日本と同様

選挙法第九條による無効投票

資ふところのものである。 慶大なる批判と整制でる民心に

〇州道記事事故 〇二回ンサー使用本 種製物 〇平井楳仙湖伯表紙

心とは蔣介石のために歌される

注で「ルズ様式會社 日 記 係

日本メンソレータム本舗



一加門八十十五五

朝お博神護照点火外あび肌 そ化 か か あ り脏 新 ぎ よ 後下疾病痛痛せ傷傷れどれ 効 各様に分雕安置された、たに喧響所は信行社へ向け進發、一と先づ

に英服安かれと歌いれる種に、

後一時から歩兵七十九服隊の管飾 男士を用ふ合同財製祭は二十日午

深湖中特祭主 市京城神社宮司

商議から祝電 南京の昭落に

軽に年末賞與の一部を割きて関係」た、その韓田標準時は次の通りで

野へ肌骨を酸

電】記者 ○あるが推路上には簡夥する支那 ○○に翼を休めた記者の搭頭機は、 夏特 つた、戦火の修確なほ立ち上るも の如く道郷してみる。暫し○○○

を得く流する長内に界色すら見受一空に舞ひ上る、城の内人の剣が横きクリークには悠々樹 午後一時二十分再び南京上

城の内から創光のみ際光に映え、地上の南京上に埋められ」両カーキの一色の中

よりとした感じた、南

第、三機また三機、我が機の上を 十分紫金山方面より燃の如く通距

下をかすめ経費を輝かし配等する

驛頭に居並ぶ軍官民各代表

重頻である元延将専門教授主済一般問題の競技となっていよく。承

勇士を心から慰め、さらに【行士

久原房之助氏

る二十二日京城襲

廿日に合同慰霊祭

下吊城をかくげた相軍、防護艦、

の関旗を根据することは常然であ、新して敬歌を表することを申し出。頭から大照底がへんぼんと願るこ クロザース氏は日本に在住してお。関旗機構特を建設し、今後は観察一氏の努力によって生れた関節指摘 **世話になってる**の以上、日本帝國、日保に日の丸の解を接け、日本に | 塔に近く養功、昭和十三年春の初

で度は年末賞與で

朝鮮防備に恤兵に

全鮮各官公吏に照會

の基金にする件に關係者で具備的 系を練つてゐたが、十八日東崇町

機談は常時話題を指言返したが遺

例の難と散つた〇〇部総勇士松下

の掲揚塔

米人の發起で建設

・ 1 年 戦地跡を京戦・つ→1 路南京に向 に罹去りを食つた歌獣氏の群が特 冲し、 為に上交は ざん・十七日 ** 特別の選を使いて上海(妻・を賦 山木の中戦には無難住た抗国政域)の 畑を 包む 黒煙が 天に【上海 | 治した、此朝十時前者の統憲権は「と臨のトーチカ戦地が物準く並び」さまらず、 各所に 紅蓮 陸の精鋭、江上の艨艟 城内の戦火殘る中を堂々行進 列は厳々と行道する、午後一時四 南京入城式の盛動を収めた京城日

京ニュース空輸

城式を撮影の

南京福岡間四時間弱

一つた 無数の機能、これで 我が荒 | 阿恩連信駐等の寛武、フイルムと 【東京電話】南京入城の肥ますべ|軍航空隊の佐襲は五十回に亘りこ 南京空爆早わかり

参加延べ台敷・・九百機

の中で南京に對する我が海「轡の遮 べ数に 實に五子三 百三十一の内鮮人に深い短端を異へてゐる

獨逸人神父が

3

尾澤商店

投下し、さらに果物、都有酒、類草を 皇軍への赤心

發

表

B 上 『愛 『愛 愛 石 二木愛二木機 車結 育島 B 5 名東 有東 陽 東 6 年 図 4 年 図 6 年 図 7 年 図 6 年 図 7 年

晴山一等兵船 游戏前生一卷具睛山是一具。

監監

監監監

紗

的

組

合

大陸 さして 日獨伊防共トリーナチス青年の 歌

て才歌歌

四三六七

原郷北方三百米の地點で旅客列

犯人隠避罪に認定

の公判に附せられるとになった。 而して 聖人經過の罪は 那法常百

遺言から生れる 女子醫專と病院 金鍾翊氏の遺見が申請

知らせ下さい、私の苦に一時神へのトンプクは一時神へのトンプクな不忠誠な空です(百万字で僅か)を注きの遺方字で僅か

=

番

叟

作

市

温

Ŋ

上 げます

引長 曲落 伎舞歌野妻 雛 高 勸 鶴 簡糕

小道

帳 唄中

本・一本国の、工事、校舎、賞 こに玄子参源の校今職地に翌 世一四国、武爾君十三国の計 世二四国、武爾君十三国の計 世二四国、武爾君十三国国の計 「大本国国で、今本本府の補助本 「大本国国で、第一次になった。」

風激胸をつく皇軍の歌力强き売削りの表現♪

K-3

新春が何の既住に回取ノリーとみどみと心に関わる原生に回取ノしるとならい。

£

啟

伸でかした

 \mathcal{L}_t

7. L

C.B

の意思

00

粂

Ŧ

ft

お待ち無れ無数「道中もの近月の人城にこれとの近月の後王高!

葉原笙

子敏

元 オランダ人形 は 兵 隊 本ランダ人形 大 元 元 一 茶 さ ん 狐 狐 ん

征

<

岩湖神風



歌詞の意識、史歌詞に皆さんを書。説風をする思して京日コドル火姜に大會の贈りです、東京少女一落のお親ひを致しませう。

あすの日曜府民館で

少年も

一日を樂しく

普通學校が二つ

|那事劇術の間もたく東東道の道||土産に決めた、それで我等の贈物||を呼び返らせる宮太峡の音に異な

さんざめく兵隊さんの喜びを眼の

人の脚く開気な三味椒の普漁粉を正理へるお正月に曝謝者な兵隊さ によって殺風景な蛇塚やパラック 線や太鼓など

お正月の陣中を賑はずためり

京畿道代表二十八日に出發

古賀芳俊氏の名譽

発地の路球情を顕確して出破

牛島樂壇→奮起

佛教團體も参加合流

十七日朝に夫々全身火傷の 天氣豫報(9二) 南山の風温度当後には暗か





竹蒜 藍物 鉄溝 躺眠 樹登兒 岡 指 朝起きは三文の得 現江南に散る幸 郷野 盤 行 遊 曲で 代十二ケ月 15 送白樱像社途。他 戦線を

預つた娘を

買り飛ばす

賠償献金を募る 赤誠の安東市民が準備中

開州国の和平の数を米属民に知らしめるやり市民の熱

いよ同答であつたが、近く金属にトップを切って大々的な本部へ申達して本部の指揮に強って金融に呼びかけやうと

ちかく全満に飛檄

列明し早速本郷に拘取した

解待も中に露見し

华敷だけ敷珠繋ぎ

止定城一番乗りの 各地に轉戰して武勳輝かし 1鬼部隊 惜しや名譽の戰死

田群山署長

高等課長に

東市||阿本國部隊の〇〇隊長と||て勇名を謂はれてゐた、一段末亡||に不審な騒があるところから前記 人となったクラ子さん。むに去る **明名は件の男を同行して附近鏡頭**

あつたが内外の信望を覚め、野談

で会北道西等階長に常得した。氏 一種山野は畑田町三氏は十六日間 静山「養神級術技の景動によつ

お化け刑事

韓吉加 府内英加里率川市さ

で関防戦金として軍労局に戦的のたが合計1千八百両に強した

甲合せ一致して努力をついけ 萬六千餘名(不用品萬分、

釜山】本年一月以來**座**南○愛婦 同部隊長始め隊員一同はそ

松葉杖で戦線馳驅

輝やく武動夢みて冬籠り

中村部隊長から陣中便り

ゆんで街頭に立ち約四ヶ月か

| 內號店里六鹏內行商李欣慰(º... 阿| 【平壤】十七日午前】時廿分顷府

が平壌可年間練所の手になり」に告訴に及んだものである

鯉登部隊を激励

非常時の出初式 焼夷彈を使つて

の傾例の消跡田初式を山芋小単校、用して流管を行ふことにし所民に「平道」平道消跡総では、月六日、節、五十キ申譚一箇の郷辺譚を便

で例年連り発行するが同田初式に

度」一英人の熟練になる大日一に前婦として変り飛ばした

、北支第一般に活躍中の無登ぶ

成南第一〇三四號乘台自動車

める折も折父や次のやうな順道

に原理し乗客府内山手町二丁目版

五名を乗せ成異に向け民走

胸部に打撲探過傷を受け何れも興 町三丁目金町駅(ご)の四名は頭部 相極しい一は関鉄機 同場の後 れてみる

平壤消防隊の演習 虎院里 観出後さんの 三女芸

に神上南日政時の前哨機

またも自動車禍

今度は咸興でバスが颠覆し 氏でこの自軸車を設け扱じて左側一十年職権者として實材学「(韓男) 乘客五名 が重輕傷

山本郎音(常備)の扇名があげら

収容力なほ不足

我らが教育機關を擴充せより

各地に眞剣な運動

見事結實

に出る。幻仙路はこの村り此處から十年歩けば同

(P)

The state of the s

X(O)X

川圭界の

一般を優秀な成 を優秀な成

每夕六時間區

醚末本仕或价與行 工月工六日より

漫歲競演大腳 特別の外呈十歳

100個座日朝

おいます。 が表すれている。 ので未だ之を防戒した者ない。 においる。 にもないる。 にもない。 にもないる。 にもな。 にもな。

二のそ

に緊急駆案山

砂には挑戦の野島職業が山積して縦道に撤進を遂げつくめる我か三 これも躍進過渡期の副

病纵いため施行に行けなかつ

三光解院鄭院長 先づ出門は

三時郡内の九二時郡内の九十歳以上の高齢者に迫得面齢者に迫得面齢を配頭に男十を配頭に男十を配頭に男十を配頭に男十を配頭に男十

大学 (大学) では、 (作のある登録が三光野 いる大切な鍵床。この方

本 法 東京、韓國、名古是、央、 東京、韓國、名古是、央、

產物

場捌城京器

その政治的

迷ってるた時、克くこれを原則に一続民衆に全くその (東側に負渉事があつてそ

た住職和の開場は残ら有効和に診験やで暗面に数減とも数知れな診験や 領所者里までは自動車 色内の西方約二十 6,35 2,15 7,55 3,35 11,30 9,15 4,55 0,45 1,05 子與并花 カ・スリボ リス カ・スリボ リス パルプピムロコ ラーオーナー・ラクエメトル: ッヤワ 力





ある。三時都所達面近発里から江陵郡最樹港まで總廷長三十

大工都。

殖銀支店念よ開店の運び

更に都市金組の設置要望

三陟金組大正二年十二

技、著牛品野冷節々を

方面に經驗を積んだ紙日水氏が支(四月二古、外に石版譜版等まで有)社の背中社長、氏に長い官東生情

様氏は本年四十三歳、三十の歳か

三水組と六氏のプロフイル

工都建設、開發工作の數々

堂々たりこの陣容

三陟漁業組合

正三時に於ける女企業令計の来 はざつと に三時に於ける女企業令計の来 はざつと

遠德漁業組合

酸水酸ひである。重な事業は三陸郡に関係のあるものだけでも

盆々重要性を増す

(六萬六千ポルト) を完成し北三短艦所 (田力二萬キロワシト) と機構の監備に指揮をかけついあるが多数三法間の意電路

江羅帝の修築完成もなよ迫る

遠藤氏の哲學

總工費一萬数十四を投し本年七月 もないのでは、

で、数年前に比べて四倍に 性臓を触めてゐる、年志微 たといふ道後而造器はモー秀の納税模範面に仕上げたのは質 いふがこれ機で氏の苦 放つてゐる 伸度に寄典した功能は不適の光を

に氏(努力によるもので面産業の 所議画をして今日の如き進内最優 である。興味深い話である。

● 具は暗和穴で流迹外にデュー 単はた人で心がはい出数、単工数 ・ 関北との共音であつたが後早初 で之を「受」、・ ※ 加致物の機能 に努めて※ た

能である 能である にである にである にである

る、元より郡内の資産家でその経っまむ故に氏の関係する事業は悉く

巾滑網通樂 競生置稱通報機を有

是每年指工程中口班與首組移起一

の多い中に氏の樹然たる窟窿は して変質は金在自民 ・ で質は金在自民 ・ ででは一般の人名を取めてゐる

现代明维河阳北常经取梅役、 阴茎脱稀者 原确或株式 肾肚取梅役、 原藻脱稀者 原确或株式 肾肚取梅役、 原源與 の活動を漬けてゐる 即の指料漁業を主張とし原成、

る本郡仙門製造業は氏を以て嚆矢 る、今日東海水声駅の王座を占め人、また一面海流駅の生字引であ

とする、俗かなら四父業を繼さ近

香山麓に像谷比幌な二階を住宅を

金龍沙氏氏法等

の間見ゆる苦難をなめて今日の大 んとする全生誕を水南界に出まそ海地曳刺時代から五十の坂を超え

れを進出せしめ道具漁船は勿論工

となったことも野しい 次また共存共衆、人の である、水桶に脚まる

常に事業は積極的にこ

れるのを眺ふ人だ

ルーつに至るまで人に一を主張としてるるか人も知る連り

《第二版底曳納、鹽巾斎賴漁報

多角的な

氏の成功は値かこく六、七年間に

快定し地元油肥工場の 日の地線を発きあずほご十数属型 一致して無規炭機用港 原属に純をあげとく 〜担子に今

日の地盤を売さるけ既に十数萬圓



の抗木の精質、、木林素等を管 遊覧路線の建設も氏の手で電話を 起した職見、魔主な化即の金井橋 である、實に多角的な事業家で せ自らは張り二不姓素消貨や窓場別き受け合弟黄星本氏にこれを任 し先づ部店で造所を一直数十回で

中は北に地大は麻然着起 別条字年の大計上りして汀 柳美柳田港とするは来上 柳美術田港とするは来上 神色派のより建筑東、水油 面を加速せといふのは に着す。最次であると前 は発酵でしたものです。 に着す。最次であると前 はた時で、近年に を対している。 に着す。最大であると前 に着す。最大であると前 に着す。最大であると前 に着す。最大であると前 に着す。最大であると前 に着す。最大であると前

即省綱組合目続後、三徳一衆の許可を得。遂平野戊雄之聚け、成寅貞と・戊、复建し、真りのに発。原正と助、魏の軍、東京統領和天等と決名では川洛頼徳、もので漢近平成三十石に及びその松下頂に上るといよ。 昨年都内遠 虚前水南市衆京李蛇牛 神片御迹がに氏調人の経営に係る冬下頂に上るといよ。 時人し着々に計選を進めてある 勝人し着々に計選を進めてみる 要するという既に達由の基本を 要するという既に達由の基本を 要するという既に達出の基本を 一供給したといふ

公戦員増も所得税のみで | に水彫状に進用して丁鉄平・今や場には落賦っ大学を投 え、光来豊寮田寺の人であるが経

好家である【当真は金龍地氏】 る、現に三陟面職、水産組合機れば栗氣になる氣性の持主であ針面の人でも修理を築してかり ふのが氏の信候である、故に初で出来る事ならやつてみようい

鄭炳俊氏 氏は真面目

脱資料とは近に損けしい限りであ

ンテリ洒屋 法専出のイ

職

たが異に素ってい、機て前近を氏の案内で語造場の隅々まで自

国資金投上常町の近畿酒造場の で横ぶ事を率至後増単で前法代 で横ぶ事を率至後増単で前法代 で横ぶ事を率至後増単で前法代 といふとれ皆氏の獨創に成る疑っして使用に関析に設計され

産業助長に

火墨湾 近藤氏

接投資利で長等の要職に、北三面医務守員、北三国医務の人、現に北三繁発開助の人、現に北三繁発

○篤志示 力氏

書が所見から三時町の合門自動車

韓田、東京の阿活造っを質収しの構光に努利昭和丁一年面内の し世来夢心清道の改善。
駅野城の常生金県周氏からこれを買収

幾多の功績

報した。現在の近た演奏会装置配を組一株式穿社女郎人へと質様地に多幸で現在の近た演奏会装置配を組一株式穿社女郎人へと質様地に多幸

紫の粉來性に治験して現に一萬日 一動車交通網の整備に数多の功績を た第一歩を戦した氏の地方産業文 手間を投じ三砂面長里に江原建築 続して本半二月退却 火栗城夏母

から問題資金のか照瞭、氏の力から問題資金のか明確の大学はは勝力では、任何記の大学はは場立子は、任何記り工学の大学には場立子は、信息百工十萬個を計載し得るといふれ入た設備でする 『人の気め』……」 といばれる火梨倉車を建設中で

「質賞は大様氏」 | 図し要語『成経』と共にその他田 | で質は大様氏に任き時に点 の既夏家力を採修したためや一次に | では泉』の名は郎内語道駅にお | の既夏家力を採修したためや一次 | のい。

一は大いに脚様されてゐる

必家で食业のことはすべいのを表が可に選挙して

柳してふる。克く酒造の改善に努

モダン酒造場

完全無缺の設備

未老の偽志家 崔末老磁造主

未老職造場は昭和六年の設立、現

在り面積の小児に加強してある。 「上野二十八十回となって開発の理職に「特別店を配置して開発の迅速を期限有様件、別様の手段等の理職に「特別店を配置して開発の迅速を期限を分散したり所に、現にい過去とい

新菜し活造の改善に苦してるる し工費ニーナ八百回を投し酒造場を たよって示されてふる、更に りである

が陳列され、文能語語の製造

ので、館内には全世紀であらに取つてゐるが、フランス人

の結果開設されるに至つたも、質節では古今の統落を参観者

『北支を描く』

本能特派員

鶴

田

吾

郎

朝鮮陶磁器漫筆

[8]

在京都

名物『荒馬

馴し

ふことであるが差質って顕有線及有機性馬を全部展有にしてア

に諸島を軽極はアラブ、サラブ

光を生じ、日暮れくば卒然とし 北支の夜は明け初めれば瞬く間

を、柳宗悦氏の論文の一院を引い

て飲らしてもらふ

私は最終と書いて來たこの有為一批解於質賞であるのは含み得ない一美への反逆である。時代の下降と一致つて、聲へ、其の値は而價の限

あらゆる方面から、絶蹟の管薬を ばならない。そして、ファンは、

あると表示ならば、それは総践で、質に此事にあると云はわばならぬ。

然るに否々は質に興味深い臨済

茶人、大名道に、其の風物想品を愛

たる朝鮮附出器は、豊公と言時の

題るに、文献役に於て粉來され

日又、日間没後、伊雄公と、其後

土や五や石にて田來た城壁、大

『併し多くのものはぞれが末期の一ある。少たくとも階級器に於ては

始め管仲の思、腱羽の乗った赤支那には有名なかの窓着が馬を

アスール氏の並々ならの盛力、製成である。 棟物館附版の訳とりかいませい アルル・ヴァヴ 一語に顕する歴史:科學の一大・中間が開設された、此種物館に対・院教と紹介され、世界唯一のが開設された、此種物館に は各國の教徒等の教明が一員

ランスの都衛門名電池ヴーヴ 特る強々の観史的物語り、或「ヴーヴレーフランスー」フ 酒の起源から始つて部前語に

古今の銘酒も賣つてゐる

て忌服殿に投げ入れたなど

キリシャ神話の怪女メゾーサが鬼馬等の故事がある、西洋には

酸されましたが

この判決た

るや五ヶ年間の微微を命じ、 クック影判官から判決を言

の間彼の好きなアルコー できむものはピールも一切

置つてゐる所へ出入したり、

葡萄

酒

博

物

舘

関係いけないと、アチラム

七の青年は恐い小父さんにつ

かまつて、やがてデー・ユー ルピン・サンダースと云ふせ **ふ所で自動頂張藍を働いたア** とか、紫癜鳴動が天田馬を辿り 寂した時、その頃から半馬が出 **仮配が残されてゐる。 古くは月**

なが保止神(うけもちのかみ)

裏保も密鑑で、後つて古来多く

れてゐるなどの路路から人間としてプラアの馬がトルコからアラビ 宗教技略の必要上、軍馬を重要視 のアラビヤ思の英雄は回数に負ふ ヤを通つて一度アフリカに入りア 所大である、マホメッドは自己の ラピヤに來たものと見られる、と 有明 名たアラピヤ馬は中

ラピヤ馬の五系統であると言はれ 既を保つたのが後世に概はつた了 した、自身も五頭の名馬を飼ひそ れらの徒便の子孫が大切にその系 **現在アラビャ馬はベドイソとい**

一例を築げれば、彼岸は牝場の一つた、そして馬の改良が同郷とさぬに繋がな流れを守つてある。 屋の掘して見続りがしたことであるが、今でも優良馬の保存生 居の掘して見続りがしたことである。

刺吸となったのは、北背楽観の られる、かの宇治川先和の功を事 即級によれば、昔の日本の馬は四 に入つて平戦順時に場の必要性が つた生感、酵品もせいぜい四尺 尺七寸位が大きい方であつたとみ **増大して來たが、この傷態改良の** 戦 関の場はといふに古

先の一つ「定期」、一定

むかしの名馬は低かつた とアラブとの変配で改良した後 かのコサック騎兵はステップ馬 の能力の低きが縮級された 連等すれは同ふはたちどころに 連手より到底直びつくことが出 来ず、我勇敢なる動兵をして切 常せめたといふことである。 常せめたといふことである。 常せめたといふことである。 常せめたといふことである。 だと、別野の名ま、 野香、地方、 快定、関野の名ま、 野香、地方、 快速、関野の名ま、 野香、地方、 は、 野野の名ま、 野香、地方、 は、 野野の名。 、 野野の名。 野野のる。 野野のる。 野野のる。 野野のる。 野野の。 える位まで近づくと、こちらがた双眼鏡でコサックの足並が見

攻場、帰島育成所、種島所を設け、地とし、関家としては各地に種島 從い向ふ卅ケ年を馬政計畫の第一度の交配によることの根本方針に 計造の下に改良すると外間種に適

中」のよ言語、この南朝とは南京 模の一室にかいげてあるのがそれ 落一中にも同一句が見られる。 つて初代総医伊藤公に南京にちた たがこの名都域東京の路路をめぐ みある唐がある、京城南山町天真 を各種馬所に即給し百五十萬面 位してるませんが、 傾有、四千五百を民有として、 っていただいたものでした

戦争にも平時にも

へと馬は協同者

ら時には非常に便良思も出來るが遺跡學上の法則から、同じ牝場か 持つ子孫が現はれると同時に、党 性因子を避難する手揺が多くなる となると雌雄崩災銃の優良因子を は多くの歌戯の馬の変配によつて つた。しかしこゝに問題となるの には殆ど条部合國種の血液が入 山山 上の如く第一次馬政 生ける パスカル

といふ厄介な事が出來した、この 群は特にほど揃った難尺と能力を また岩原島も魅れる可能性か多い のピエール・プランシヤール、 ナール、主張は同じく一節と配 アルン――旅客は『旅 ピランデルロ原作のト -キー作品 (佛ジエネ 無難映画時代の名標 れるピエール・シ

きな個々とされるのである。

の計畫を構てるべきであらう 力、速度等々の科學的機能を行い、地位等につき、その規引力、持久 常工業と共に整配すべからなる時 しめんとするならば、各種系統、 に馬政の貯炭をより受明に發展せ 家造業の一である、拠つて若し更 かくの如く馬の改良、飼育は軍

一条感を極めてゐると云はなけれ

今十、三朝陶監器の鑑賞は、時

と私も信ずる

(本語文英(新年館) 第旭百屆阿氏 と個人だ呼談(日本映画の所 本、 対議報(新年館) 年 1 日本映画の所 本、 対議報(新年 1 日本映画の所 年 1 日本映画の所 東京・京橋・朗地画 1 、 質報プロー、 質報プロー、 質報プロー、 質報プロー、 質報プロー、 質報プロー、 質報プロー、 質報プロー、 質報プロー・ 対策プロー・ 対策

聞され迷に駆かずべからざるもの

層に些んになって、其の質質は機 の内地人によって、呼び鑑賞は一

門前の字 それだのに、ி局、彼は彼女の

一个時のラギオ

風産と伊藤公の書

いくら手耙を出し 家へ行つてしまつたのです。そし 型えてんません。

けはありますが、それから後は、 たど、厳銘たる事質は、それ以

の戸を開けると、前のコンクリー 楽、彼が彼女から韓襲されて、 彼女は、それを見て、彼が小便 彼女が 翌日早く超きて、玄鵬 甌みられなくなったといふっ

店 商 木 齢・社會式株・舗本素の味・達用御省内宮

家へ行からかと思いました。

でで、日本のでは、日本 も手傷つて、すつかり泥酔してし 事だけです 三年食の夜、彼は、そんな領国 然 ても、彼女からの返て、彼女の家の前へ立つた記憶だ 彼女の方には、自 すつかり天地晦冥になつて、何も

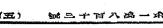
彼女に彼女の心を聞くことも川承 ないと思ふと、ちよつと聴躍されで書いた字であることを直燃 呼出す際にも行かないし、鋭つてりついてゐるのを發見しました。 し、行つたところで、直接波女を「小英語が、ガラス文字みたいに原 酒の酵いの力を借りて、彼女の

フランス作品

一般は「コルコタ」のロベール・ル ヴイギヤン、イザ・ミランダ【下加 方針が決つたのである

新刊紹介

に暮歳御 **忙**段は今ま て通りてす る如際お れ取;何~じ値~ 1-



数の様子を形づくつてふる。 行つても嫉愍で関んである。「病ば

しかし近代観の前には城壁も既

りではない、普通の民家でも城

直質である像に見える。支那に例

此理論は東洋の藝術を概拠する時が川來る。私は最後に此事を指摘る事が出來。既に叙述した様にそ 作であると云つて卑む様に見える。此法則が破られた個所を見出す事。史上の異例を空朝の院職に於て見

して李朝藤依への新しい試験を世

の英は単純化への徴品であつた。

武装せる兵の城壁を出で、何良と

を求めるであらう。之は大郎分正

しい見解であると云つて間違ひで

のは更に痰を動ね用にさへ高い薬」は、人は自然を離れて、作為に整してある。し

情を眠さっとしたのである。自然 自然に1つの器を造ったであらう

一如何に関工は無心に

防御器に関する挿話も豊公の時代

題では、伊藤公を超る幾つかの

への無心な信仰がその作を遊むの一役等に関作に関する意識さへ無力

りも六朝に角深さがあらう。成も一片顔い結果であった。云ひ換へれ、精緻な絢爛な色彩は気らない世界

はないっそれ故に比の法則に從へ一でたく、自己の技巧への意識が主一つたであらう。器は生れたのであ

には

ど言つたつて働かねばならない。 働きながら癒したい!と言ふ以 充分な防寒保温は無理だ! 排除はこの際何よりの耐寒工作! たら、治療薬アイフによる病原

内壁には疵や爛れまで出來てゐるため、食後や空腹時に 胃腸病も慢性になると、禁養の低下から身體の衰弱が萎 痛む許りでなく、僅かな刺戟にも胨の蠕動が亢進して下 能がすつかり損じ、古くなつなるムのやうに弾力が鈍り **冷え込みや食物の加減にさへ下痢、腹痛を頻發させがち** でありますが、これは長い間の無理、不攝生に胃腸の機 しくなり、寒さに對する抵抗力も飾りますから、僅かな

の胃腑障害を除くことが先決問題であります。 やすいこれからの寒冷期には、防寒、保湿より先づこれら 趣を計るなども望み淡い声でありますから、症状の境感し ありますし、未消化の荣養剤で胃防組織の強化や祭養の促 期したり、消化酵素の分泌異常から腐敗又は酸群を担して 下痢するものであります。從つてかうした方は、熱量の多 い脂肪分を澤山掛つて熱源を充實すると言ふことも困難で

^級 落陷京南

併せて、胸やけ、噯氣、惡心、胃痛、腹痛、下痢、嘔吐、消化不良、食慾不振等の諸症狀 からの寒冷期には缺かせぬ治療薬こして賞用せられます。 の炎症や糜爛、胃腸筋肉の弛緩を癒し、腸管の蠕動異常をも整へるここが大切であります をも消退して胃腸機能の健全なる活動を助成しますから、冷え込みから悪化しやすいこれ 整へるごゝもに、膓管内の有毒物質を吸着して體外に排泄する等、廣汎な病原治療を營み 胃腸内壁の病變部に沈着して炎症を癒し、粘膜を强め、弛緩を引緊め、分泌や蠕動異常を それには單に止瀉劑を用ひたり、消化酵素を補給するこ言ふよりも、病原である胃腸粘膜 治療薬アイフには恰度かうした病原的な治療作用に加へて、對症的な薬効もあり、主薬が

町之西谷水清區東市阪大 和順補本賣亞 卷三○○五·二○○五·○○○五(東) 部電番五四三限大器展 地 番 九 町 炒 具 區 婢 本 市 京 東 部○─○四、川石小)新電番八八二二六京東番振 目 丁 一 週 縣 山 市 逸 大 蓮大

臨 三 分日七十 横五十七 分日四 五 分日一十型特 録十五郎一 分日八 ア城州はに定路便・フィア豊特はに起取

▶りあに店藥名有の所る到國全◀



電力聯盟側の最後案内容

京城支店貸付

東京の十二月十五日現在 東京の十二月十五日現在 東京の十二月十五日現在 東京の十二月、中華大学の一様『またいかたい、「「「「「「「「「「「「「「」」」」」。 東京の十二月、中華大学の一様『またいかたい、「「「「「「「」」」。 東京の十二月十五日現在 東京の十二月十五日現在 東京の十二月十五日現在 東京の十二月十五日現在 東京の十二月十五日現在 東京の十二月十五日現在 東京の十二月十五日現在



五「お棚みが取れましたか」

外で置(子/日) 東京コール は Ottoo

といてすいた。

中は無常已み難ない、我が力量を

校平野町 國 井 趣 近 *・紙・百貨店にあり

(52)

一龍齋貞丈演 木俣茂骝尚

外なからうと見る同が多で今長共和場は湿硬に推って今長共和場は湿硬に推っていまればいる。

地震・音が上げ、四半十八番所 雅二子 人 カリには強いませぬ。 が円地位は既実教を名解 『元功・此山にとの位あったら 大力の自動型するので依然質 うな、どうだらう、よから別んで て足り文面目を見て胡良が 見やす、質様に飛べるか』 し政府の質量来は心御以上 丘 『親々ませうつで……』 むれいの質科 西路とよ本間 むれいの質科 西路とよ本語 不は買控へ

うな、どうだらう、上から頭んで一連の極めた恐怖をしろ 五助が小山へ上つて身位に週子

中野難一郎、中隣殺夫、井上帯七 定めて能く見れば、大隅脈右衛門

ピックリ関いた山口藤之玉瞳を

は電難と見られてゐる と背かない氣になつて繭之氷が一之氷を見て、此奴が居ては枕を落

川正米山況

く練られないから殺して了はう いふので、著辞典を場画して是れ

へ乗込んで繰りましたのでありま

| 第『イヤイヤ潜物をつけた所が浴 體ではいけません、早く召物を

助といふ者だ、近等の肉を食ほん其の飛道具さへ父の特徴 俺ほ五 五『サア此奴らア、能くも俺の权 父を飛道具を以て殺し居つただ。

指责就安 (一八月)

一衣だ、潮く標盤で勝負をしよう。 大小を僧挟み、五助に於てはトウ

と力足を踏鳴らし、

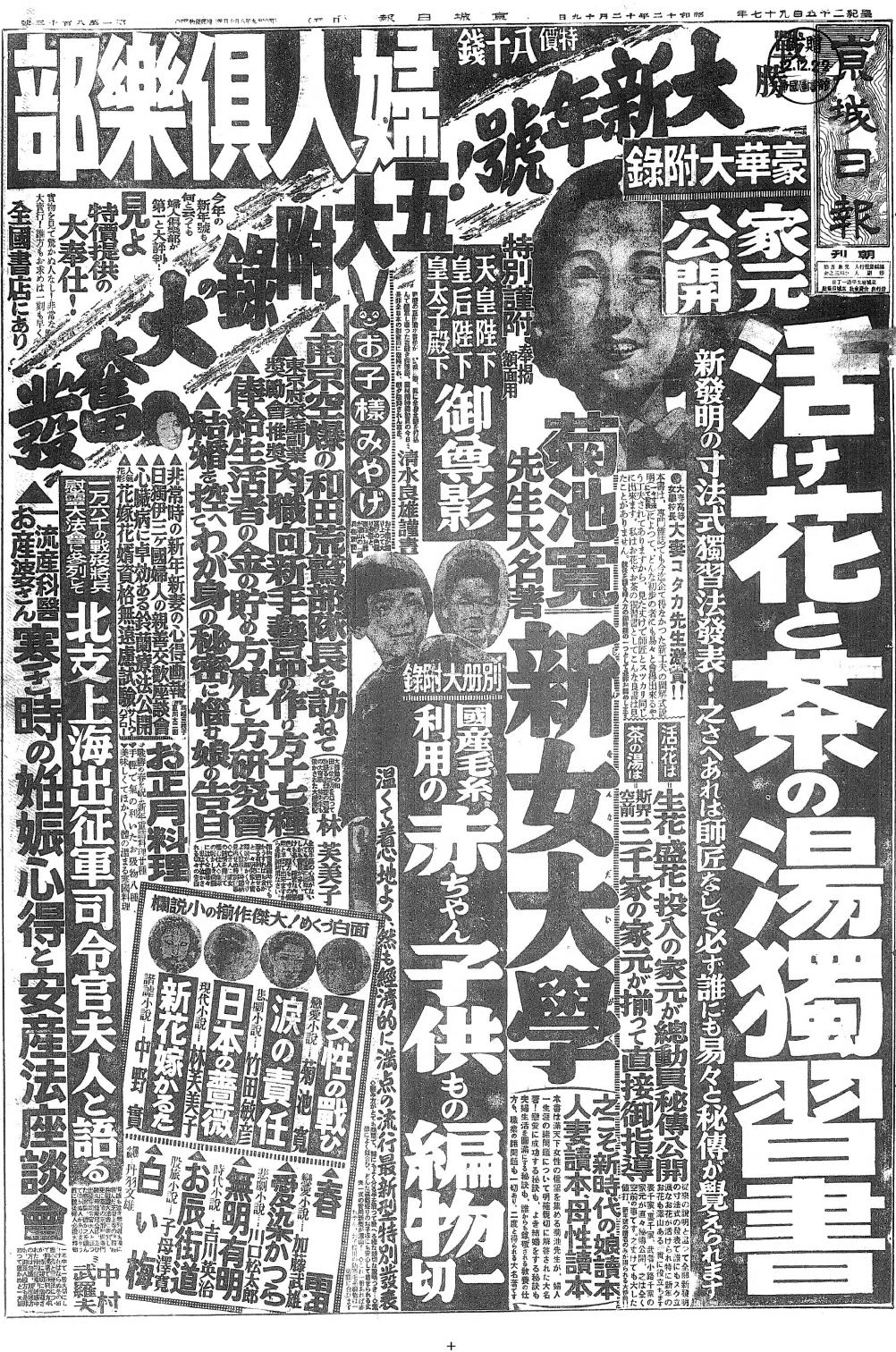
数さん所へ、思ひの外の大勢、今

てお在でなさるのが等ひ、併し鰈

と挑撻の上へ確かりと帯を締め

と力を入れると、恐ろしい哉、松 以て片ツ端から打伏せて異れる」 と手頃の松へ手を掛け、ウーン

を根より引放いて、枝も下さず其



全支朝野の反省を求め

手軍の決忌

を表明

後は兵力を以て之が保護の任に當 七日山西文化同盟會を改立し、今 に〇〇町が良子牧砂柳町の手で十 れがあるので、之心保持するため 七東洋文化の至實が失いれる記 難したり、又は綺麗にからつたり

化臭婦古英術などが戦闘のため戦 北京十八日前版』山西省内の 山西文化同盟 會設立さる

新年宴會御取止め

優は特に御取止め遊ばさせら

漢口に集中 勢力は外人に握らる

機能育館、博物館、千佛等などの一勝人飛行士も居る由でこれらの飛 のうちには蘇聯製工機構、発酵機、支熱空軍の魅力は外人によつて整にその主力を集中してゐるが、右一人も支熱密軍に参加してをり今や れば支那空軍は南京戦失以來漢口 【上海十八日同盟】漢口來電によ | 行士はスペイン政府軍に駆してゐ たこともある。なほその他の外

漁業條約交渉に就て

米内海相、宋次内相、資津城相を「当年後の開議において既定方武遣」針に関する諸畿の封策を決定する。において全閣部隊見一致、大本督 り之を決定するほずで、十八日は、ために関かれた十八日の臨時脱職。と内閣との連絡意識において前後 な音楽楽について会際傾向に完全

について閉路で完全にこれを承認 五回に互り協調された各数の方策 した認で午後四時三十分歴史的間

E

と連接實際将率資金問くこととに 陸相關係官に報告

匹革結局長その他闘係官を招致し 反杉山は相に官邸に権理大官

同雅な感觸を持つ近代的な 色調と

肥城北方の 敵を猛爆撃

外務省當局談を發表

方質河左岸光神、平陰の敵略地低 平部版の〇〇機は、肥媛(家安西 てる職に果敢たる機能揺射を行ひ 水からめか十八日午前九時旅南西 は益々野紀婦く大哉何雨岸には西 **入打撃を與へて勇雄周遠した**

帝國政府の探るべき

日離珈端條約修正交四は収力の

外務當局談

對支根本方策決る!

り横沢防災を中心に重要協議を退 **へに閉議を開催、前後三時間に官** ワシントン十七日同盟】アメ

慰問袋に

沢京電話] 十八日曜なる旅への 漢日に到着

公定標準米價决る

中國ソヴェート政府より使用す

のコリ

胸咽喉痛

法行為に對し東京な歴形大使館

保存に真全を期するため方法を調じてある

中心に各閣域の間に忌憚なる意見

関首相以下各開館出席大本唇と内。時半より開闢を鑽行して最後的決。その後に跳かれることにならら

跨四十分×50 有相官邸に開省、近 しなる誤解に認識したがなほ子後 1 しなから海前資職は I T 二日又は なる背線と認識した結果、具備的定のため環時間議は十八日午前十 にが、大値の方針については完全 舎内、御前資職を実践することに 見たを緩の對策について真に慨重 題に對應する帝國の根本力針決 | 定すべき対策について協議を挙げ | 二十日畝のて官中の回都合を何ひ 政府との巡覧を議したいて決定を 京電話) 南東路路域の針支新 の交換を行ひ、 帝嬪政府として決 土曜日のため近衛首相は参内せず は午後二時四十分神路、大本香と

基礎として費用外帯、桝川健和・「した、御前倉職経済の伴について「る帝國政府の第二段の對支法不方 政府の対支前関政については陳議職との建語管職の超過並に結果を「定をたすことにし等時中一旦休息」(派京電話)南京商器を慰療とす 恋見一致を見たので - 茲において

東東東

ckio hai

4 購め乞ふ 帽子店にて

蘇聯の猛省を促す

軍は南京を占領し昨十七日時れの人城式、本十八日慰霊祭を行ふや直に今後の作城に即應するため新たな體勢策の皇子改の行動につき不思報の改革を改立書頭、左の如き動物を選択と

松井司令官談を發表

りつくあるので、外種省は十八日初らず反省の色なく遺迹の日を送 聯政府に我が方の再三の督促にも

日能漁業権約繁定協定はあと句

経省を促した

に宛て蘇聯政府の心情は調印の即ち三月三日函館市長は外教省群が高まつてゐる

依頼に基さ外務次官に蘇聯政協會から外務省宛北神道市民

その一部は直に江北地方、又他の一部は浙江、安徽地方に向ひ急ぎ作戦を行ひつよあり、然し年ら軍

体養の必要あり、この間において軍は新たい軍備を整備しその作戦地方における警備、市民の宣撫をはかりつ 全般としては上陸以來四ク月に亘り間斷なき湖會戰に引續き、追擊戰に移つたため相當疲勞してゐるので智士 A再度の作戦の準備をはかるはずである。今後の軍の作戦については實に蔣介石並に國民政府の態度如何によ体管の必要あり、この間におして軍長業ナル軍権を考り、こって、この間におして軍長業ナル軍権を考り、こって

社太黨解黨期成同盟

聲明を發表す

ものと思ふ、又自然でれにより國民政府に反省の機會を與へたと』ふ

政府側より首相以下を時間出席し 州氏初か隣倉根軍委員を招待し 午首相官邸に衆議院の小山、金光 野生切迫したので來も廿二日正 /討議會衆を中心に、政府と緊急 連絡し就て無談するとになった

豚け

健康の障害を

簡便に除くには

米政府閱試 極東問題協議

しい治療効果を示ので存名です ではい治療効果を示ので存名です かけいれずすぐ妙布で御手賞や ではいい かられずすぐ妙布で御手賞や ではる 披れやコリ等健康の破壊による披れやコリ等健康の破壊がある 無疾の痛み、活動寒さから來る無疾の痛み、活動

疲れ

蘇聯駐支大使

·ファオレルスキー氏は、十五日 に放組し、河政治職員の宇息を、村民政府を抗日人民戦祭政府総官「総藩したが 代一些菩託官以下九名の館日記

最低二十七圓三十錢

最高三十五圓四十錢

と見られ 既に蘇蘇梅百二十卷に 十三日操縦士二百四十名と非

ムべき標準最低價格、及び網準最高價格

四十歳(炎面一周五十銭賞登二面十銭上げ)に決定同四時戦争した起門二十七回三十銭(変面二面四十銭賞登三面上げ)最高三十五面

日本年より公定價格接差の基準統計を表現三等に限見したため、公

資金に十八日午後二時監林大臣官邸に開会 荷見米数局長より米

野科省案を中心に密膜を重ねた結果

米穀新制委員會の決定事項

蘇聯の不法行為に

嚴重な抗議を提出

主急責任ある回答を求む

せばる「別談ちやねえぞ、子

こんな場合

素晴らしく効く

筋肉の痛み一神經痛胃痛精腰のコリ リウマチス 過勞の痛み
打撲傷靴傷

米の建艦 件育紙の報道

ン紙はアメリカ部軍者は明年度 【ニューヨーク十八日同盟】

ヨーク・ヘラルド・ドリビエー

於て主力體一隻を建造する意向で りはつらいもんだだ。 今度また京城に行けと云は北

【上】堂々南京へ仰入城遊ばされた朝香宮殿下【下】松井軍司令官を先頭に入城市中を行進し「航空園」

萬年筆卸廉價提供 店無線新版カダログ品 WANTED 澤井商會製作所 最高峰の

台班越

全属所謂にあり金百十銭 金二十銭 金二十銭

《註書 更京 四六〇七番》 東京市場在標門昨日 15地東京市場在標門昨日 15地東京市場在標門昨日 15地東 房

英蘇兩國の尻押しに

たら、次いで來るものが何である。

かは間はずして明かであらう

銑鉞生產高

人は何時も健康でなの美のために、御婦愛見の爲に、御自分

ければなりませ

歌庭藥は進む

築ではありません さした単純な外傷 権勝や滞荷を主酬

サキシロンは、最新の楽化學に基いでは、 ・ に殺菌消毒薬とかいた。 ・ に殺菌消毒薬とかいた。 ・ に殺菌消毒薬とかいた。 ・ に殺菌消毒薬とかいた。 ・ に殺菌消毒薬と病いた。 ・ に殺菌消毒薬と病いた。 ・ に殺菌消毒薬と病いた。 ・ に殺菌が、とのいた。 ・ に必いた。 ・ にがいた。 ・ にがいたが、 ・ にがいた。 ・ にがいたが、 ・ にがいたが、 ・ にがいた。 ・ にがいたが、 ・ にがいが、 ・ にがいが、

日本は六位

早くも底は見ゆ

蔣の叫びに和するは弔鐘

一に外國の援助如何に無つてゐる。行はれつゝあつたのであるが、盘「窓とする所である。 「「職を調ねる前支援助の如言を励執が用來るが、この上の長聊ば版は、ルートによつてソ聯の貧支援助は、十度の轉換をやるのがその最も待。である。何を苦んで此上日本の慰太権終絶に適したものと解するが、ルートなどの所謂コミンテルン。」何時でもその不利を能わとき百人。しつつありといよ消息さべあるの る日本の感謝を歌し、又は一眼を 聯盟また『満洲國不永思決議』を に戦してゐる、一方九周会議で主 と見るべきであらう、然るに九國。軍の包頭攻略、太原攻略によつて 今や、安部出現も軍事的に見て | 環、内線、南京ルート、並に奇蹟 | いっしかして英國の悲損な外交は | と蔣に對し、暗に對日議事を動情

賭してまで日本に對抗するものを

の物料を下ろし、抗日職を展開す

用するに至ったのであった。然る 新政権と、浙江野間との団権 まった一勝を以てしては、その全海軍力を 在の地中推を中心とする瞬時の構造を緩くしてゐる。しかし英國は親

全鮮の肥料商 約四割を整理

然するところなきかを聞か、今

大陸鐵道ブロツク

十二月十八日取扮

總計 金十一萬三

千四百九十七圓

めて良好で、既に全南道発島方面 作を懸念されてゐた本年度朝鮮犯

は本月初旬から新藤香の採取に

し去る人日頃から新物が市場

、満、支を通ずる

【奉天十七日同盟】前加重工案開

パーの経香に悪心することになつ一有力に揺頭し、驚々實現の構選に

満鐵内に有刀な促進論擡頭

の経営方針を根本的に是正導化すのぞみ)はヘルピン延長、満支直

朝鮮防空器材献金

字五戸二十二萬六子岡で前日よ

本府卓球大會

* 也 累計金七萬九百二十段 思計金二十八段也

鮮銀引織さ

相磁は例年と大差な含も昭和十年に姿を思らばし人気を呼んで居り 度の四百萬國内外の水場あるべく

迷はれず 野会の部 歌されるものです

限外を増發

たが、これを製機として関内鉄道

向ひすでに講鮮直通列車(ひかり

時間の駆倒の中にある者は、驟の大きな奉仕であると思ふ。即

現在數整理數を示せば左の如くで 市場で行はれる習慣なので一市場 て根本的整理を計る意向であつた

操に主婦たるべきとを削はず 機能を更に深く反省し玩味し、の心臓へに於て、今日の幼質な

を同時に、國民の母として、 と同時に、これらの輸入は、

せしめ、將政権事だての反共主義一番刑貿易に從事してのた我同唯一

者間に目下とれが其靴的部隊が連一に九千粒の褒込に成功して居るか

肛の出致の形式は全部現物出致と 群からも朝鮮郵船が参加するとと ることとなる機様で、これには朝 一億頭の一大國旅船會社を設立す 上版の魅行権は完全に我手に収

重慶を目指す

銃後の献金戦線

五圓 京城府地町三ノ二

内に進出せんとする計畫で、これ 朝鮮院空幕不安や皇軍時間会は引見期候に入つて本社へ寄託されるとき、統役の献金税和も意よ 彼いて殺戮、既に長塵をのんでゐ

残るは四千六百店

資本金二億圓、朝郵も参加す

日清汽船を中心に

日本十国の選挙となった頂金には「悲られ神内異企器要の争感には関 「ては定郷は四百二十合為国の減少」「戦っれ神内異企器要の争感には関 になっている。 増に対して使用は五千四百七十三 完全に十個最を突破するものと領比し収金三百八十三萬三千四の小 郷郷によれば十二月末に至っては

船を砂糖として、乏れに大阪商船一る、なほ新規の八千組に同工場の の我國語會社を楊鵬貝して賽平金 | するはずである | 女の脚腱が駆著で、其他が宍百四の我國語會社を楊鵬貝 | 女出しは来其他の取引を示す手形 のられてゐる、これは結局日清汽」ら合計一萬七千郷を北支に輸出す

制路にも進田従來支部沿岸航路を |政府に最後の徹底的打撃を與へる そのみならず北、中、南支治理一個くまでも迷惑からさめない國民一番が歌として告託されたのを初め と拠占してゐた英國の勢力範圍一べく皇軍が第二国の方派を進めて

京城大和町の國防婦人会京

京城福町半川四砂代さん。三脳 から三十圓、成南利原普技財政院 京城奥江道三の一一七家庭が天氏 らは卅八四二十級の島東新問 朝鮮選送水管加田郵所配員一門か

二十国 京城府鎮江道三八一

三 播本方 大日本國防婦人食一日 明城府大和町一ノ

三 播本方 大日本與防婦人會

日計金一百四十一圓八

全南莞島海苔

好がありません。

(する即館が翻まり何んのぶ

採取を開始 豊年を豫想さる

累計金四萬二十五百七

十一圓四十一錢也

一時吸組のため背機者の設定で凶

上版易學校見至から六四八十六錢

金騰は、列盟の利害及酬心の利率 外帯。内装、南京のルートが漁飯、日本の締建左尾事的成果の前には「介石が寛敬で更に抗日戦を戦働し 状でなく、聯盟自身が開放の危機一つ、ある事故と、國内財為工作の 文那側が希望する對日線時所の沙 | 職以後歌次孤立化への傾向を辿り によって既に完全に失敗し、風歌」されるに及び、その援助は質質的 て對支援助に今日以上の禁草を派に對抗せしめた事は、ソ聯とし に客域するに至ったのである。 かも、ソ聯の関席的環境は北域育 答のゼスチュアを示す一方: 類り一今となつては列国の総感であり、 大生海路落の際から早くも日支調一ついありとしても、長期旅日が、 各道の土木費補助

百萬圓查定

道路費中で目立つものは

一總計は八百九十五八千八百七十四 定し目下大戦省に要求中であるが 道門東域仁川開城に於ける明平 へ ・ は記述明である。 ・ は記述明である。 ・ は記述明である。 ・ は記述明である。 ・ は記述明である。 ・ は記述明である。 産金助長の道路改修

| 加設として連目される は産金政策に順勝した目前らしい

△是南(百二十萬七十七百四) 道 山道路で修育州の下水工市資並金山道路で

三千三百萬四千頭、佐田九億八千一登金の廻收が行はれたものと見ら 井西六十一萬九十回で、前月宋に 前襲行十一月末越定は預金四億一十億四回の域少となったのは市業 億圓に迫る 前月末全鮮銀行勘定 れてゐる、而してこの費用者加の

代に呼酬して全面的に次の各炭額巡出に沿目してみたが石炭将市時 東拓系の **指系では強わてより有類だへの** 有煙炭增產 來容愈本格化 朝鮮工芸協食に達した鏡州情報に 汽车间提出一個五千九百七十五 れば北支線花の内地線入促進を 創立決定

3、郷生産商は左の通りである(界位的 部生産商は左の通りである(界位的に於て調査せる昨十一年中の試験に適合

に伴ひ歐米各国とも繊維類の特定

しやう。機つて、南京脱山後の蔣

目指し今回興中公司及び紡跡、在 同衆音の機器三関語が

冷え込みから直ぐ、こしけ

邪から思はぬ病氣となり、

婦人病になり勝ちです。

綜合輸入機關

り明年度より他と年曜十五萬ト

つた即ち他前上り同窓航で送伽道

ぐりよく健康で切らかな春 合ひません、何時も血のめ 病気になつてからでは間に

を迎ふるために著行質母散

痒み止とを 兼と消毒と 痛み

٥

å

今までにない純國産外傷薬











すり込めば、先づ痒み痛みを去り、腫れ ひび、凍傷、あかざれに、サキシロンを





婦人病の手當

が人組織に抵抗力を興へ、常







一般など作用過和で安全です。



産前産後に





壁町荒後に京都を沖服されます。





その上消毒作用がありますから、化膿を をひき、更に優れた表皮形成作用によつ 防ぎ、しかも局所を刺戟しません。 て治癒を早め、肌を美しくします。 切り傷、すり傷、やけざ、靴ずれに、サキシ 怪我をした時にも 水仕事の後や人浴後に、よく水気を拭ひごつてか ら、サキシロンを擦り込んで置きますこ、ひょや

ロンをつけますと、傷口を殺菌消毒して化腺 や表皮を新生して傷を治します。 を防ぎ、いたみを止め、傷面には速かし肉芽 顔剃後:化粧下にも

によつて、剃刀負けや病菌の侵入を防ぎ、肌ヒゲ剃り後に輕くつけますで、殺菌消毒作用 をとゝのへます。また御婦人方の化粧下、ア 止さしても重質です。

關東代理店 東京市本町 體 小西新兵衛商店製造發資元 大阪市道低町 盤 武田長兵衛商店 はたけ・くさ等の皮膚病にも有効です。このほか、雪やけ、鼻カタル、鼻つまり、鼻腔と

87(1)14

一〇銭三〇銭 六〇銭 一團二〇銭 市名景店

勝利の陰にこの勞苦

んかして・・・・・ なにくしおめかしな

時間の水風呂浸

北支の大軍を蹴破るまで

本社從軍特派員 松

定

支那兵は眞質に

らねと外段の武官や断しい共器を

他つて勇敢な兵隊さんの有機を親し

戦争も これと同じやらに 保定だ これは恰も山の頂上であります、

葉がありますが、日本はこの事 まで訓練したので、護が奉撃後六した、昔から油断大強といふ官 まで訓練したので、護が奉撃後六とが、日本はこの事 ドンノ (入れて支那軍を朝から戦強いと漸く日本の一般が知りま

らして昔のチャンコロ位に思っ」たつたのです。そして色々の作覧があつまのですだか、年の今日では見違へる纒の軍隊と兼がありますが、日本はこの事

||後軍犯者として太原攻略戦に||快きを味はふことが財來ませう、 「見て來ました、皆さんは新聞」とか、石家莊だとか、太原だとか

の食気などで、城壁の上に立つて

るたらと物解されるでせりが 如何に勇ましく花々しいものであ んの数を見て、職爭といふものは 機能を明んである勇ましい兵職さ

す、鉄後の描さんの目に映つる部 れて嫌し数の裡に再載を呼ぶので これを占領した時こそ、勇敢な兵

支那は日間戦争時代はとても跳か リスペアメリカの長隊だつたらと

も、若し支那軍を攻める方がイギ も上手になりました、今後の歌ひ も日本家のものをとり入れて戦争

たが関民革命といふものがあつ。ても酔つことが田来なかつたらう

その軍には

わばなりませんよ、恰使山登りの

るあり、胸をつく意坂がありま

のるやうに、日本軍にペチャンコ 事製上作事製で、皆さんも知つて

今度の北支の関ひを見ると花さしるためにダッノ

い戦ひもありましたが、これを大

ことが出来たのです。

さい既で見ると行気戦であつたと一たるからあわて、退却する、それ

も識せの皆勢があることを知ら

するまでの兵隊さん迷の音ふに然し私は皆さんにこの頂上に違

ほんたうに言葉

についた時には何んとも首へね

今度の戦で

わらひごゑがきこえて いりボンをおむねにつしそうなうたごゑや こゑをしながら、あか

ぶつ!!。 つとシリスマスけ

とひがともつて、たのいのに、うれ

あかあかなど」およばれもしな パガク! ポッ!

やいいおやまのうさち した。 ちおかまをおりてきま てしまひました。 させて、ちひさいてをのことです。 らおかまをおりてきま てしまひました。 させて、ちひさいてをたかいおやまのうさち した。 きょうくわいでは四ッ よりながら、おうたをわいいおやまのうさち けて、にこくしなが くくわまちへやつてき いおかほを、にこくへもいい

れぐしわたしもお

さざが、 うへで、 ちょうしろからかあさまう たちが、たかいだんの あるところでした。 カーカー チェッのちいさいこども うたひながらおどつて

へゆくんです?そん エスさまおうまれあり

ひよんびよんびよん おもひがけなくおとも まも、おもはずてをうれしくなつたので、 ちひさいこごもたちは た、とうさま、かあ

ぎつたりうたつたりし

した。みてゐて下す

しよになかよく、お ほよろこび、うさちや になりました。 はいつていつてい だちができたので、お チーーーとと

そばした

南京

は

ッ

ち

た一本部内谷和県民地子

るのに「折られるのはほんとうに ーリップ」や「しゃくやく」であ の悪口を云つたにくらしい『チュ

ちくつかまりました。龍の中ながりのかひもなく「熊雀」はと

命に介抱をします、水をやつたり などして……帯ひ銭後も開発も見

子供たちはとれを見て聞き一生懸

「宮町は唱歌劇に出る水下河公普

戦跡の回顧

てるますと、今度は切ちやんがさ

さず、 思いがけたく情報の撃一供たちも大きびでとの娯後と誤解

を吹き返すととが出來ました、子

童 m:>

を観つて脳の風に吹いた可愛いやめかし量さんの『チューリップ』

無収配さんの『しやくやく』やお ずる私のところへ」と自分のお友達 ふとチューリップも負けては持ち しやい」とまつてしやくやく」が話 と「しやくやく」は子根後をつかま つてゐるところへ可愛い子製雀が クプ」としゃくやく」が咲いてる

にしてしまほうとするのですが、

や譲ちやんはであらりきれいだと

ます、そこへ遊びに來た切ちやん わたんで開菊さんに惑口を浴びせ

後さん、神様どうぞおぎもりな

してゐるうちに力が鑑さ果で、思しな命つたり、慰め合つたり、慰め合つたり、慰め合つたり、慰の合ったり、お五にに選んで來たのでした。お五に

の美し

やさしい心根をたる

お略一面は急にパッと明う

と唯一心に肺臓にお下がりする計

倒れてしまひました

甘栗太郎へ

野口公園

橋塚爪田

魰

田

E 太 郎夫 んは「製後」があなくなった後で した。知取後さんとおめかし聞さ さしい結婚さんと仲よしになりま

つきの「倒後」さんの果を扱つて 知つて悲しそうに「眼の上手た雲 生捕りにゆく相談をしてるるのを

ス既大勢、野菊、その他コーラ

「登場者」チューリップ、しゃく

唱歌の劇

が昭和の子供・

のるお脳の中に美しい「チューリ

照んで來ました「チューリップ」 ました。お互に美してを自任し合

> 2 皇國臣民の智詞 全員 1國歌合唱 全日

5 筑前琵琶 あい忠大「櫻」號 4獨唱と唱歌劇、水下洞公立普

9愛國歌劇、帝國軍歌氣。九章 10史歌劇 台津の少年、古虎隊・

東京少女歌劇團

帯隊ラッパ隊

全員

フログラム

「黒雀さん私のところへ、いらつ

3開会の御挨拶

京岩縣主義 池田林儀先生

8軍隊ラツバ吹号 歩兵七十八京城田報管署 松田定久先生

7お話 勇ましい〇〇部隊

6少年劍舞

清 江縣旭舊會

附係の方

十五

鉄錢

主催

京日

コ

þ.

E

が、敗軍への原因を貸しるた。此邊の下手方の細

11京城日報設學ニユースと漫響

東京少女歌劇團

コドモの

細かい二、三の過失が敗因 饭塚 拋一郎 初の調がりが六呎もある暦白の大 バシベリア … 本の珍客

無十局

(園は収終迄の川面) 金龍で王

本島は上半金融的た五四歩に依つ一部ではかい、東京戦争を持ては後、東京は上半金融的た五四歩に依つ一部の手を選ん。2000年8名、以下衛元氏が別外たが、現底な一二部の手法を選ん。2000年8名、以下衛元氏が別外に終め局間は平野衛二階を職員である。2000年8月に終し、急く機変撃(大人名くきが変みが)に入るくきが変みが、

小さな島が六省県の高さになり ありました。その時が面十六呎の した。そして轄沼灰が積りこの土

理も離れてゐるサン・ココラス

でも――日常過れてほん

イクミンを 神経することが 数対的 でするやエネルギーの消費が増大されるとともに、 職項がを始またされるとともに、職項がを始またされるととともに、職項がを始また た必要になるのです。 こうないないなが多少不足するもととの繰りかたが多少不足するもと、ないまないである。 が健康なとき

神殿産の辞母劑で、病弱者の荣養増進の目

下手が(花門司)二二、成百七

9

社园社

弱の人々に一

ばん必要なも

住風、時に北梯弧を取つて料金にりべりてへやつて深てゐます。こ 葉をみつけて玩具の銃で攻撃した少年が脚をさらつて飛ばらとする ☆イクリー……雑と聞ふ 原が、今北極方面から冬を過し トレンチノ地方で二人のイタリ とう殺しました、この智は歌の

☆グリー ンランド… 機がりが約七呎もありました

時間水平線をくるくる題を ド及び北極の離島からまる二十四 この頃の季節では北グリーンラン ☆南洋:・胸轉して掘となる

金と掛かれ、攻勢困難の耐形に立

皆さんが長く

戦地となると

つた以上どうすること いのできますが、この水地脈に入

行軍戦には

ますが弱から水の中につかつて三 関の食事も水の中に立つて食ふ袋 間もかくつて天津に出て来た兵隊、水に住まるのです。その中を三日 が貼から下腹までも選する水の中 の當時の話を天散で聞きました

行のません、人間である以上は大

あるか一面水です。一歩観れば歌一ます。その間の山路ですから形像

兩足は恰度

みな兵隊さんは

が水つて畑も て度がペルとむけるといふ気の稼べかつて畑も てきがペルとむけるといふ気の稼 お風呂に入つて手の平が武白くな 一方山岳地帯の行軍戦もこれに劣

のやらに次ぎから次きへ聞いてる 通つて千米位の岩山が家権調の波 験だけに大行山脈が山西省の東を られな客が伴ひました、支那は大

は武真に類は出来ません て行かわばなられ、腹が減つて

死んでゐる馬の肉を喰ふといふ始 末です。こんなことは管理ではと リケン粉や支剤米をとつて食ふ、 んでゐる支那兵の持つてゐるメ

汚いとか綺麗

類を説ふことが難らしくなる程で すが、そんなに楽山に親したもの したのがポタリーへと落ちる、こ です、この些様は見事なものでこ

すが、男宝しい戦の裏にはこんな 大便がつまつたといふ話もありま

を噛み、山西に多い監権を喰ふのパクフイン・ランドに出かけたか だとかいふことは全核なくなつて「リカの測量院と天候製造者が総合 れにようなつて技をゆきざると
側一子呎の高さの山脈が競見されまし ずつと皆ことにほインデアンが住 今日では前上り土地が語え、作物 南アフリカの航空路では、現行家 ☆ア フリカ… らないと報告してゐます ムブリッチ大型探機隊によつて六

に沿ふ百四十四端の量上に巻かれ

最近のヴィ

食然の減退にはいろくへの飲 が出て抗病力も強くなり、延いては病傷の治癒が出て抗病力の孫取ができるやうになり、元気のから疑察分の孫取ができるやうになり、元気をいてない。食慾さへ起れば自然に平常の食べも病弱の人々に一ばん必要なもの――それは病弱の人々に一ばん必要なもの――それは病弱の人々に一ばん必要なもの―― を著るしく早めることになるのです。

エピオス錠は無理に食慾を誘

能を毎日期間です。 を総が再び進んで来ることは をはながまが進んで来ることは 間を豊富に含有するエピオスた人々に、ヴィクミンB複合 **310**

適勢の生活を送る人々や、或は胃腸に過剰貼んに用ひられます。 寂場酸にあらざるま

の連用が基た効果的です。

タミン日療法 ……と顧する小外子及エピオス成功 1~~ 気……― 四八十歳の一年六十歳

機谷產學博士監製

【作二油】邑では韓に吹く一般か一夫人、國防婦人會長梅原邑是夫人

ほか明合敬部二十六名は十六日打一

した。いづれる子八旦二十回・十二一永同一忠州郡では去る十四日邑回

舊曆廢止と斷髪 城内の五瞬である

七百九十六點集る

中を近続権政災系中の仁川第員が 町物語前科二型伽藍九つの一味

兼二浦邑章決定

遠く内地、台灣の各地から

いても出央と折断中であ

明春早々建設

報題の結果次の三點を入賞者とし を見せたので、懺重に懺重を重ね て第一位を邑草として採用すると

日本第一位 「株」の字の映案化丸 でになった(カットは一位入賞) 本第一位 「株」の字の映案化丸 で お左 へ

移民後の紙沢は今後に及ぼす経験 戸し結氷を扱へて羅子斯へ入植

【大邱】慶北秋の移民先遺除二百一旦訓練を行び館補一如の其精神を一

朗報に張切る。慶北道當局

後續部隊の割當ても決定

で全く面目を一新するであらう

に渡してやつて臭れ」と配下の基

かけてくる牛のため機能所では頭

達以那の

儒林團

時局に威奮

赤誠の献金

を通じてこともなけに渡して駆脱

の劇的情景を演出した

柱尉山邑長

諸田凸長 辭任發表

競得させて三月の寮早々、羅子湾

へ送ることとだった、各部の割官

大阪市|四風京町郷上連三ノ七近 | 本第二位 | 「衆二水」の閲覧化

京城府人等町八ノ六浅川藤木本第三位「株」の字の開業化設制

水原」愛國婦人會分會長許那守

近く決定 直に開歴史生間関で歴

全く面目を一新する

咸興の新市街地

部は羽鮮都市経営の手で

た上、十五年度に十八萬四十一都市起营の手で一部は分職し 住宅を經營に決定

松二十七萬坪は

傷病兵慰問

日標までにあと二割八分

慶北道當局躍起郡を鞭韃

開城

Ø.

年末警戒

出澁る棉花の共販

短程度であるが八日の棉飾は大一き郡と雖もこの**検会に全**重手放さ 塩相提削回上り六十四類品と

たので摩北道ではこの際各部

は、目標三千萬斤に比して一分と消し、日標三千萬斤に比して一次と消し、日標にの利得金を高めれて東東の本道の出版。日本で、日本の本道の出版。日本で、日本の本道の出版。日本の本道の出版。日本の本道の利得金を高めれて東東西の本語の利用金を高めれて東京の利用金を高めれて東京の利用金を高めれて東京の利用金を高いました。

州。金泉、尚州、関慶、醴泉、北の安泉、英原、慶州、永川、 漆北の安泉、英原、慶州、永川、 漆 なってゐるこの都合に對し米劃

府門員ご先 生のナス

は二十割、昨年より三刺者の一 十五個 總質心昨年了5四前者 職員の賞製金は一萬四千六百八 開城】府職及び府内公立資連學 萬四千六百八十一圓、學校職 関で、府職員は二十三割万至

井 よ

|注は金く相違してむり部の||家庭を脆坊機関品を贈つて概めた。||主任は八方手を蔵し木炭|

一会がストックして資却しない』と 時く方が村が多いといふ立前から 内では鉄西面が主産地であるが最

庭念部に対し

一般問品を贈った、

メソジスト数官でも十六日再び各

慰安に努めてゐるが、今回は各家

二回づく召贈軍人家庭を訪問し、

に決したが十六日歌原園青朝是祭

ーッ当力馬

の浮説があるやうだが、これらの

田荷を辿りまた市中では『木製組

は打開館に廃心してゐる、姚微都 るたが最近全く品に缺乏し組合で 拂つて一般への供給を開滑にして

解配に大変である

近山元では難に嫌くよりは原木で

【水原】愛機站人會分音では毎月で桁公管課長岡田榮氏は今回退職

勇士家族に慰問品

總額百三萬

本年は宽甸鳳城恒仁の三縣

更に復興期間を延長

博

平元緑高原・城内間の初列車に

も悲鳴

下工事中であり明春までに接工す

歳末盤戒の

網にからる

【心山】平元軍部級高原・城内間

動行について協議した
一氏からを競員に發表、具律化する。
「氏からを競員に發表、具律化する。」

氏なら金原員に競選、具盤化する

どつと貨客の殺到

る確定である

貧者の一燈

一則七十八銭。同谷大里四十八 名は五脚三十四銭。同谷大里四十一名は八五脚三十四銭。同三斤里四 五十六名三側七十五銭。五谷里 七十五名三側七十五銭。五谷里 四十五五山。五脚半十一名一川 三十歳を下九十、五類年間命と して養養着に前にて來たが、

四名は四周三十七以を同古泉里常川郡寺丁寅遠宗里郡諸民六十四川正にこれこそ故者の一族:

圖河勘里三十八名

町二二両雲板ニカで住所不定的

犯其職能三、他山町] 八種明

豫定收入を護に突破し高原螺の如新線だけに開業初目の貨を成績は

から開始、治療住民の持無かれた

きは押し寄せる興客のため出札係

十三日後に八百三十萬斤に達し、
な田雄りを見つゝある忠南横花は
【大田】酸腺肺とともに連日暗盛

農村は大潤ひ

ること なり

石原の膜点を殴りつけ歌声した後

もつとけて駆打印化させた、豚に

中傷記者檢束

恐喝もはれる

るは大邱府で工資解主事に禁趣す

この代金質に百十萬國が即村に極

に既行はボクくしものである。な

が眼鳴をあげ保険を観に増員する

は同新線器は指來山、確心、極田 などの上々登場がりであつた、な 四八元 株山町一二安和水八山町金

(その一)十七日夜十一時頃間山 丁七日夜の捕物三郎 【仁川】城宋非常野戒精第三日目 一般語と影問の意を表し、即日路水 見舞び一般附品を贈って深載なる。連れて龍山陸軍病院に衛病務兵を

線に引掛ったものは驚くべし千 直つて非常召集を行ひ.

夜は年後十一時を押し、全管内に 年末聲戒網を張つてみるが十六日 立ち、春日機動員で水も洩らされら竹殿者具、特別決主任が眺頭に 「開坡」青祭器ではまる十五日か 一夜に干人 網にかしる 署員の駅

型押へたが住所不定版敬篤(い)と 大概に逃走せんとしたので追続 層信金三国を接続い逃走中の強か 無线的食した場が根塔にあった 前科者で両夜大和町菜飲食店

> たものを内閣すれば左の運り 深刻な木炭饑饉

十六名の多数に上つたが検問され

現行犯一人(一件)要動不審版| 前九時から都食議置で領収現行犯一人(一件)要動不審版| 前九時から都食議置で領収 沃川邻面長會議

と共に競合された

阿爾亞 級原 府主事 岡田

内燃機 界,權

神谷內符為長

開城を視察

音字扇を密同、初度巡聴のためで

|現職体院||機能の数和策を調すべく有州方面||を限り色製の進展に努力、すばら

城津郡る斡旋に大童

に交渉したり山元にも強要し年内

しい功能を残し邑民はその時間を

岡田公營課長退職

には十分信用を充さうと原発西走。惟しんでゐる

山元も品不足を告げる有様に

替ガスの施行節多大の功能を強し「大邱」大明側の運動地段匿一会 と問じて午後八時餐列車で開始 返して公立府法學は 特殊者 邦の上府職に入り、府尹室で開本開、宋府尹の案内で開被離社に登 立聯語 博物館、東夏尚出疆所改 に至り郡守から管内事情 村南道路 金甲福院常藤等と合い しておより職内を一巡の機関登録 日午前九時五十二分間列車で

監督を撲殺 仲裁の鍼拳に貸慨女を繞る喧嘩から

平北州州郡水豊岡の駅|名を北支に保護し無路調査をコ

(こ)が明人を叱躍 郷休道に解釋 を喰いしたのを憤慨し附近にあつ ので同帳場の現場監督石原光男氏 二人が女のことで喧嘩をほじめたつせいてんだが、十五日も朝から 開人会業と安を織る艦の闘争を 然而既休選ぎはかれて同眼場 前場の土工業者全北南路郡 掲げ語歌立投げてゐた某週間新聞たことについて中格的通信記事 に辞取され 支局職蛇果」盛に十七日夜費

大量製産·在

車

京城府京城區的

で坑夫即死 残存マイト

【仁川】 過級而工育機所が護員四一死した トの野穴尻に気圧マイトが機験即 で緊急失命刑事には十五日マイ 個日本鏡唱所大口间鏡山第三號坑

林ヌ七朝

本班•大阪市北原茶屋町 〇三

昭和十一年七月一旦現在硬化地質

京城府南大門面四丁目 七六番池(海頭ピル) 取話本湖(2)七五五番

社會式株乳煉汞森

船腹不足から

理研資酒

モウ公まで足止

内地行の三百五十頭が

【韓唐川】未曾有の代船不足はお一文明で時局對越帯孤實を開き、 南浦で正月迎へる 國の一員として結後にあつて出来

にも影響し既に十一月十日報整備

得る限りの利威もんことを消揚し 数可決、直ちに各自の収金を集め 日達城郡職を訪問寄託した 寄附募集協群 園では

るが、今年中にはとても船便を得

られる情様もなく様へくと結め

而音体設立、変貨別金融集につきる

サンネット 漫劇

「種里」十二月前本紙兼建・勝田」の明高部なる人様と思慮せる手腕「一個より本田以来添み年七ヶ月、そ

州上の來任以來滿五年七ヶ月、

瑜迦面

龍工画の個杯服百五

は邑将格と共に初代島長として晋 遊を開くため退職に快定した同氏 【蔚山】邑長柱弦州蔵氏は後進に

【大邱】繼续群文鳳面、宋岩面、

大邱府入り 後任評頻り

とを探知した海州署では直に十五一度丁で戦闘したものであ 師走の海州に惨事

人を刺し殺す 泥棒呼ばはりされた大工の恨み

E脱している多趣味な青良登録

そつつてゐるが、人能緊拍すべき。因此は金マールいなめしく、「鲰ら もつがあつて十二日道院有職供衆

火順水将組合が削立された。例

お百二十町歩の水田があ







後の初群を自く頂く紫竜山々麓。暮られた暦主のうちには既死した

東上間に於ける献工業者の一部に 工業組合及)

原金牌(時軍)操作鮮泉調査網及廿二工業組合民) 胸背參請 (13年) 井

おくれてはあるが、香蜂も結束地|鹿銀帯以下道の關係職員京城、仁

「努力しようではないかと、川綱府が川磨のもと「軍事監製造

作品長の名で高峰法院を初め全録

これが所削目的達成に内地と所載

松部局。熟到所が一位一施せられるもので、その目的に意。法務局、全解釈教所、一年より毎年十月一日から一週間質

國境冬の陣强化

對岸の匪賊は約三千

八日午後一時より南京放宮 「丹穂の佐がるつて同二時子想しく

も旺んだる式を終った、何この日

宝の玉串本寮が執行され、最後に「もてれば精術々々とばかり廿一日の敗職が行ばれるうちに厳粛だ祭」の既が持田され、廿世皇皇道知事

午後一時から京島道存職家に郷工

そとなり、十八日午後一時から世

わたるや各様体銃、軍隊「孤郎内で打合せ会を開催した結果」從軍犯者を監問するほずである。

版と期間品を摂へて、各部原並に

も動行宮殿下を始め取り、宝

東立に従軍犯者動用便を指遣する。宝鵬線、京後線の各班に分け時間「東京道語」日本新聞館會では且「各世から代表を建じ上神・歌画線

|悪る軽角照常は、冬季粒氷期に入「鬱煙化されてゆる折瓶、脚壁つ能」来で満洲関節化量のため王葉間、「脚の食験缺乏と共に如何ななど、酸塊等下三十億度の軽減関複線を「下に放ける軽消費循環鏡臨減が繋」がである。 対洋の呼吸利氏は今夏一四般音化してゆる態度であるが **発着投資議もこの程終了し、いよっち新院の位務機を活動せしめて** って平北。成南北三近各第一総書(底内藏路を制し平北には近く到着、金日成が相次いで鑑れたので題る。ラ歌法に出てんとも襲らず灌動の 、唯一今年は鮮繭一如の方針

たりとも鮮肉を保護せしめざる決、電句、桃女、双エ、ままで、これでなり、各種新越武器を以て一歩、衛側共 格温や第五七三十が祖仁

(特と共)頭、土匪で振覚、萬職、「無配が多分に見えるので雄一総関

一緒並に高層建築物には細密な注意が改善をなさしめ萬一に聞へる単

京総道保安議では府内各額場映議。而な治所を發見したものにはこれ

映畵館にも細心の注意

の二の都ひを起されやう酸素な調

境陣は大いに脱退してふる

名と相附り他人の沓除草を行ひ るや身の数因を願い子部民二十

| 画面赤城里漁鬼節さんは時局が続きたり京城前大門交番のお手柄

會に軸握をおれ回面に於る國防板

並の酸田計論類を彼かに落官に開

男を、南大門交番の佐伯・李権巡路に南大門通りを通行中の経しい

南山(ご)と云ひ諸原里職の三和電

けふの天氣

造製の手に

展送の案内書を

京城府西大門町一ノ八四 京城府西大門町一ノ八四 常整商會人邱營至府 大郎營至府

指聽此會 針唇葉明 於新岩調(全個曲會)

【珍名解典】大阪市

國

可憐な竇店少女

何幸宜しく御 長指臘書さん(**)は里内顧田巡査制 (五興) 御 忠北島城諸原城南邑内里第一萬々

の召集せらるとや選早く不適だぞ

働く小使で月五四宛の月給を給せ

(15)は、 唇里溶片郷山事種所に立

のと雖も無い神に掘れぬ、自分が

豆タクで災難京城監視

貧の中にも

を知るず、本面に設度多くそ

の爪大と断うした勇士な後向に数一名の手載が来た、野芸以下感激し 女 妻に唯夏先に一に可能し、毎要で毎日田福軍人を見 &と時間、恵北堤川野長のでに右のやうた無 の成家派―賞兵・で蘇 夏女 永憩されるのから 金額けで貯蓄した中から五回を一へてみると、坂川郡坂川面邑部里 し、日頃質素に而も真面目な融 に配めて居るが今回の北支事 は意井氏経管で商州路構内 てこの殊勝な無名女を極穏福に調

位兵金に使って下さい」と要婦 数岐加頭のやめさんと判明した。

忠北沃川郡四面東坪里西長金三点

南京入城式の先頭を飾つた海軍を樂隊上航空便

むるは銃後の自分等の義務なりと一説の的となって居る 孝子の動勞奉仕

く主義を強し、等于として数次表

しいので画、駐在所及び最後は一般」
欧であり、画民は時局の駆散に乏 慶北開慶郡東金面は郡内中最る原

地先に差しかくつた既、突然前をに向ふ途中、顧路四丁目一二一番

んべこは、四十年に耳る長い間よ

の憂いなく安心の理に元料に出版。関を見、韓田郷ををして着も後駆

を思ふと音々国民は殴つて見た居 に働いて居られる兵隊さんのこと

十八日午後四時中ごろ京城自信町

お婆さん惨死

七四浬轉手金塗涂(一の運轉する

移し、おれこれと何不自由なく面し、その住宅を邑内の便利な所へ

の受したからしむるでう言至を期 関の場に出作する軍人に対し接助

頻り二回は自己の一ヶ間の小道と

常時にこそ、鳥風の高分の一たり 偏に関係のお願であるから斯る非

北支を戦場に

英米つひに起っ

こ云つても早合點するな

宗 惶

家里·服大

ENEE Z/C

傷にも有効に作用す。 もしむ。糜爛性凍傷、切痕を殘さずして治癒せ 痕を殘さずして治癒せ 水傷の疼痛を去り、患

これは煙草の話

せしめた、内野歌和の華として絶

御異例の觀兵式

自動車鹵簿で行幸

新に御内定遊ばされた、 開車は用ひさせられず、特に自動車公 東南部で行物遊ばされるのは機能全御態定以來御始めての御事で、鴻喨な

前九時十分第三公三國籍二

佩用、御長靴をはかせられ颯爽たる御軍裝にて午さられ、衛日御正裝は用ひさせられず、御略章を御売職所下に満に時間にほどさせられ御殿業、鄭河湾に職く大師心を用び駆除下負しく代々木網兵場に行卒、賽は高き精誠を関はせられ渡くも 大殿下負しく代々木網兵場に行卒、賽は高き精誠を関はせられ渡くも 大

天津の南京昭落祝賀行進に應へる寺内軍司令官(軍司令部系開にて)

民法の越海特詩を脳化すると共に 当法に對する國民の理解協力を得 裁判中の應召者に

在監言の優遇

公訴棄却の新判例

第一公布され昭和十三年]月]日 郷唐邁加明は去る十一月九日附府

白同慰霊祭執行さる

風寒き南京飛行場で

支方面戦死者の

羅しこの制挺の目的透成に適地法務局では部下關係官と共に 歸鄉勞働者 これに対して学野郷判長は「老職」訴を兼却せ上と爆弾的申請を提出

者中国権期間満了によって最近国 これが結婚者の概ね独行成組及好 等語海者が概ね接行成構及が、期間が一部正確で建しいと大路転の各方がある(で、内部局では)、低と指する・・・・ が暗眈の

遺法週間を設定

法務局長から通牒

に異確することに決定。十七日法。十三日を中心として週間を質慮し、移住物飼育を刺台せしじる要あり、法保護日及び遠法週間を全部一常、健觀銘所を新たに加へ、領華九月、中校(院徒)ばらなって自政的に 般に周知徹底をしめるため毎年間一が、來非度からに昨冬新生した保一今後の労働器給網節には零先して 全府法が同では可法保護事業を一となって質施し来ったものである。 で特来土木種素影動。中原として

し確果たる指標を示すに至った

と徐徳の日本室絵のメッラス碑(小川羽行主播絵「大春郷暦主同楽)に弥談」年後三郎三十九世紀に仰く墓軍の南京入戦武の著者を収めた京日ニュース勝騰三郎郭の道り十七日南京語行権

ける航空便で到着

東安那混を一類に欄間に飾つて飛び南京

催する南京路外就貿京日コドモ大会で封切上映するはずであるで勝着するとになった。豫定通り着けば午後一時から二回府民舘で開京に定覧も登け、鎌書を終り、けら十九日午後を時世長が次島時代は第の、空の急行便。 分といる職業的記録で用破。同六時二十三分無事消了事業行場に刑治したが、同映酷に更に果

もたつた! つのもの

お子様のために

空河 LL 機附屬品共高價質人 寫與機械材料一丈與質 京城武橋町 菊田寫與銀材料弱 京城武橋町 菊田寫與銀材料弱

是非一台を!

特別拿內

大阪劇場に鑑み

女子時ころ都染町 二二五光で昭和

であったが、銀行が出来ると

オルガン ピアノ

金三十八圓小 金五百九十圓

カタロダ連

英容弟子墓集 新聞歌、弟子塾を李尊す 新聞歌、弟子塾を李尊す 美帝川和一二(朝鮮ホテル前) 長令川和一二(朝鮮ホテル前) 長令川和一二(朝鮮ホテル前)

と耐入が揺にやんだ

林

電話本局(2)三四人五番 京 級 本 町 一 丁 目 京 級 本 町 一 丁 目 京 級 本 町 一 丁 目

自計

(各地に特別店あり)

製造家募集

勝得級党の自族執着に對し集終会」を添くて『北支修兵に置つて下さ 映画そのままの活動を深ら発露。 原語された第十二回公列において「家党の日本力帰前牲二日に金百四」 たよら登るので異様性と追跡はたが「四途利長は十八日年恵工時」には十八日年忠栄大回墅に旧頭、「あんであた」を定り年を消して キングの地圏でし **尿日ニュース映畵** 南京入城式

た名判決として渡へられてある。 と楽田した まる判決として渡へられてある。 と楽田した 日本刀二口に

同設作中の應召者(自阪勉、松下

百回添へて

神兵隊事件被告に適用

を機関 カフエー、遊郷で夜の貴

逸國有鐵道中央觀光局日本支局

看

在受 豁及び見習者臨筋寡 京城府若草町一10 京城府若草町一10

来れドイツ

觀察に

・遊學に

公女

銀氏が京城南大門連野藤ピルに開

附は大衆女堂 二三四階に和洋支

故お関合せ次第無料で差上ます。又郷途付申します圏最近豊震なるパンフレタト印刷物取揃へて有ります

案内所 神戸市神戸區西町四二ノー(5+4株) 事務所 神戸市神戸風北野町二丁月十五ノ四

質利祖英"心は主家の化粧品

本町一丁目入口 層牌出 坂

井

摘

新發度 山窪ピアノ 牛盛30號

埋

立 工事の都合により選 ・ 工事の都合により選 ・ 工事の都合により選 ・ 工事の都合により選

耳鼻咽喉科醫院獸

京城市三坂道・金中・社

所たる下領域の城に首ひよつて繋

ゆうちぶ金町一七○秋薬子之助氏

ほ込い主人の戯に迫り子供まで密 飲食し南大門通一ノ三季寅永氏酸

。せたす、数を消しこんどは現住 | 行動面百二十両。両途局待為著

ゆるが、安藤は水棚町禁枕木店に 西品質代二百六十周を横鎖したこ

Sが菱龍 本町岩で取調べられて | 配人比相談(これ)十五日夜並生

北京真部に駆めてゐると言の

支配人御用

一店員、京遊機井町一ノ

女に言ひ寄っては横領

鍾路署の捕物

達者な元店員

タルトキへ除斥セラル ター出版人 岡本温忠 学一出版人 岡本温忠 学一出版人 岡本温忠 を一出版人 岡本温忠 は、昭和十三年二月末 大田和十三年二月末 大田和十三年二月末 大田和十三年二月末 大田和十三年二月末 大田和十三年二月末 大田和十三年二月末

状脈出身はたっぱんない。 れるお歳暮の 植物水素

黴 滅疾 48088 B. 687

獨逸 音を重ねる は 井田院

東四新町景摩副 にして内容完備空間あり 宿夏蘇成

京城南大門連門丁目

女店 長採用が計レジスを

田櫻 段三年

夢は眺るやうに云った。 うしてもお金の工面が附り

等の日、標屋へ機能の代理と云 (銘の向よ側に坠つて、)群か

東京 (中国) 大学 (中国) 大学 (中国) (中国)

高汽船 出机

新野山商會 加野山商會

代船出帆廣告



1 (全社) 月廿四定十十 1 (全社) 月廿四定十十





せるで自は三十一の底下で切る







其の他一切の慢性急性者病験人病、痔疾、脚氣症、梅毒婦人病、痔疾、脚氣症、梅毒婦人病、痔疾、脚氣症、梅毒肠膜、腹膜、胃腸病、淋病、肿膜、腹膜、胃肠病、淋病、肿膜、腹膜、胃肠病、淋病、肿膜、腹膜、胃肠病、水病、

| (三) | (□) | (□) | (□) | (□) | (□) | (□) | (□) | (□) | (□) | (□) | (□) | (□) | (□) | (□) | (□) | (□) | (□) | (□) | (□) | (□) | (□) | (□) | (□) | (□) | (□) | (□) | (□) | (□) | (□) | (□) | (□) | (□) | (□) | (□) | (□) | (□) | (□) | (□) | (□) | (□) | (□) | (□) | (□) | (□) | (□) | (□) | (□) | (□) | (□) | (□) | (□) | (□) | (□) | (□

+

乳幼小兒の諸病氣管

一時一〇分(大)

新人推薦の午後

背廣源

工職

¥50'00

多難

講演

と云ふだらうるいや、云ふばかり返せないと云ったら、難能は何 百計載きた思ひだつた。

雄郎





八代の高 福岡の

墨田墨

より

旅館

名刹道宗本

病地仕室 香出世 の出十よ

全 加 (1)

○內內 (20)